

「集団の荒れ」をほぼ克服したこれまでの取り組みの成果に立って、特に次の二つの視点を基本に集団力の向上と生徒個々の基礎力向上に取り組み、平成24年度新教育課程のスムーズなスタートに繋げる。

①「学習のつまずきの取り戻しと学ぶ意欲の喚起」の視点

② 特別支援教育の視点

このことを本年度学校経営の重点として全教職員が共通認識し、

○ 学ぶ期待がある学校（分かる喜び）

指導の工夫と個に応じた指導

○ 感動と活力のある学校（切磋琢磨、やり遂げた喜び）

一人一人の豊かな自己実現を目指す多様な教育活動

○ 規律正しい学校（自律、忍耐）

授業や生活での規律ある態度の育成、自己及び集団への自信と誇りの涵養

を目指し、一丸となって力を尽くしたい。

現状について— 学校評価アンケート

1. 現在成果をあげており、引き続き充実していくべき事項

- ①生徒に明るく活力がある。
- ②生徒が部活や行事に積極的に参加している。
- ③教員・生徒に学校を良くしようという意志がしっかりある。
- ④生徒が授業に落ち着いて取り組んでいる。
- ⑤挨拶する生徒が多い。
- ⑥生徒の服装に乱れが少ない。
- ⑦英語の少人数授業が分かりやすい
- ⑧教員が学校の様子を隠さず協力を求める姿勢を持っている。
- ⑨問題に対して教員の対応が早い。
- ⑩校内がきれい。
- ⑪おやじの会等地域との連携がある。

2. 課題として取り組み、努力・改善していくべき事項

(1) 学力向上について

- ①教師の指導に関わる事項 — 基礎基本の確実な定着
 - ・「分からないままにしない授業」の工夫
 - ・質問を受ける工夫
 - ・授業態度に対するけじめある指導（遅刻、私語、居眠り）
 - ・適正な評価と指導の連動
- ②生徒の学習意欲の向上に関わる事項 — 基礎基本の理解
 - ・補習等学習支援の充実
 - ・家庭学習の習慣化（課題、定期テストの取り組み等の工夫）
- ③生徒の学習態度向上に関わる事項
 - ・授業時の集中（チャイム席、私語、居眠り、忘れ物）

(2) 生活面の向上について

- ①教師の指導に関わる留意事項
 - ・委員会等自主活動の活性
 - ・生徒個々に対する理解
 - ・関係機関との連繋
 - ・自尊意識の向上
- ②生徒の生活態度及び意識向上に関わる事項
 - ・委員会等自主活動の活性
 - ・服装を正す
 - ・言葉遣いを正す（粗暴な言葉、汚い言葉）
 - ・悪口、嫌がらせをなくす
 - ・お互い注意をし合う

新たな視点から取り組むべき事項

①特別支援教育の視点拡大



- ・ 8組との交流推進
- ・ 専門機関との連携

②小学校との連動

取組みの重点 — 全教員で情報を共有し、学校としての組織的な対応を図る。

1. 基礎的基本的学習内容の定着

(1) 各教科に関わる取組み

- ①「分からないままにしない授業」の工夫 — 授業公開・校内研修（研究授業）《**教務・研究**》
各学期の授業振り返りアンケート実施 《**進路・教科**》
- ②評価評定の明確化 — 学校としての一貫性と根拠を全教科で確認 《**教務**》
 - ・年度当初に保護者、生徒への提示と説明（指導内容、評価方法、評価基準等）《**教務**》
 - ・通知表の改善 《**教務**》
- ③学習の基本的な態度の指導を徹底 — 授業態度、提出物、チャイム着席、忘れ物等 《**生指・学年・教科**》
- ④外部講師の活用の推進 — 「総合的な学習の時間」《**各主任**》
- ⑤英語 — 少人数（2クラス3分割）の検証 《**英語科**》
- ⑥「総合的な学習の時間」整理と構成（24年度を踏まえて）《**進路**》

(2) 組織的な学習支援の取組

- ①朝学習の継続 — 時間の確保・有効な教材準備（新1年生に連動）《**進路**》
- ②日常的な補習の取り組み — 実践の検証と定着（新1年生に連動）《**進路**》
- ③学習補助員の有効活用 — 授業補助、授業取り出し、補習等 《**特支委**》
- ④長期休業中の補習学習 《**進路**》
- ⑤家庭学習の習慣化の努力 — 期間や内容からの工夫 《**教科・学年・進路**》

2. 特別支援教育の推進《特別支援委員会》

- ①8組と通常級との交流推進 — 実践を検証、推進 《**8組・学年・管**》
- ②校内研修の課題として位置づけ、実践研修を実施 — 学年ごとに講師を招聘 《**研究・特支委**》
- ③関係機関との連携推進 — ケース会議の定着 《**特支委・管**》
- ④2小、3小、西多摩保健所心理士との連携 — 「学校と家庭の連携事業」（東京都）《**特委・管**》

3. 集団の一員としての規範意識及び自律意識の育成

- ①生活態度の改善 — 具体的に明示し、全職員が実現への意志を持って指導にあたる。《**生指**》
 - *昨年度取り組んだ**服装、あいさつ、委員会活動の活性化**については、引き続き取り組みを推進。v y
- ②防災等避難訓練についての改善、定着 《**生指**》
- ③表現力、コミュニケーション力の育成 — 教科、道徳、総合的な学習の時間の計画的な活用 《**進路・学年**》

4. 小学校との連携推進・・・「9年間の視点、中一プロブレムの解消」

- ①3校交流会のより有効な実施 《**教務**》
- ②総合的な学習を活用した相互交流 — 職場体験（中）、部活動体験（小）《**生指・進路**》
- ③本年度の取り組みの検証と改善 — 出前授業、授業参加、児童の中学校参観、プレテスト等 《**教務・進路**》
- ④生活面での小中共通の取り組み実施 《**生指**》
- ⑤研究授業等の参観 《**全**》

教育という仕事は複雑で困難な仕事である。しかしその複雑さと困難さに向き合い、少しでも目の前の生徒たちの学びを豊かにしようと精一杯努力してきたことは本校の財産であり、誇りである。この成果を持続的な生きた取り組みとして定着・発展させるため、常にすべての教育活動を内に外に公開し、多様な立場からの評価を柔軟にかかすことの必要性を改めて心に銘記し、全職員一丸となって力を尽くしたい。

※ 《》は具体的な取組みを起案する組織を示す。年度始めに起案し、本年度実践・検証をお願いしたい。
《**教務**》教務主任 《**生指**》生活指導主任 《**進路**》進路指導主任 《**学年**》学年主任 《**全**》全教職員
《**教科**》教科主任 《**特支委**》特別支援推進委員会 《**研究**》研究主任